

比のリッシュさん国家試験合格

「優しい看護師に」



看護師の国家資格に合格したリッシュさん

名前が長い「リッシュ」という愛称で親しまれ、現在は整形外科病棟で働く。さりげない心遣いなど「よく気付く」と患者から人気が高いという。

経済連携協定（EPA）に基づく外国人看護師候補者の受け入れ事業に伴い、本県では09年度からインドネシア、10年度からフィリピンの候補者を受け入れている。厚生労働省によると、これまで本県で受け入れた10人のうち、リッシュさんが3人目の合格者。

リッシュさんはフィリピンの大学で看護学を学び、同国の看護師国家資格を取得し、日本の医療技術に触れようと来日を決めた。2013年6月から半年間は埼玉県で日本語研修を受け、同12月から済生会前橋病院で仕事と勉強の日々が始まった。午前8時半から午後3時まで看護助手として働き、5時まで語学の講習を受けた。寮に戻った後は国家試験の過去問題を約4時間解くという生活を1年3カ月続けた。

合格発表日、厚生省のホームページに合格者の受験番号がアップ

EPAで来県

フィリピンから来県し、前橋市上新田町の済生会前橋病院で働きながら勉強を続けていたデベラ・アイリッシュ・マンルタクさん（30）が、看護師の国家資格試験に合格（先月25日）し、同病院で正看護師として働いている。来日から1年9カ月間、仕事と勉強を両立し、語学の壁を超えての合格で「高齢者に優しい看護師を目指したい」と笑顔で抱負を話している。

されると「リッシュ、おめでとう」と職場の仲間から祝福を受けた。「世界中の患者さんを助けたい」という夢に一步近づいた。

鈴木伸代看護部長は「素晴らしいナース。日本で働いてよかったと誇りを持てるよう支援していきたい」と話している。

上毛新聞社
2015/4/23掲載